

個別施設方針一覧表

【07_片平】

2025年（令和7年）10月
郡山市財務部
公有資産マネジメント課

「個別施設方針一覧表」の見方

施設類型	施設名	地区	施設概要	サービス評価	建物評価	総合評価	取組内容	方針
① 1 集会施設	② 大槻ふれあいセンター	③ 大槻	延床面積 ④ 1,444.08㎡ 建築年度(経過年数) ⑤ 2009(17) 構造 ⑥ RC造 ランニングコスト(年間) ⑦ 6,763千円	⑧ 高	⑨ 高	⑩ A:継続	サービス ⑪ 継続 建物 ⑫ 長寿命化	⑬ 地区公民館と行政センター等との複合施設であり、地域コミュニティの拠点施設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。

①施設類型	施設の目的・用途等により類似する施設を分類した名称を表示
②施設名	施設の条例等による名称を表示
③地区	施設の所在している行政区名(市内15地区名)を表示 ※旧市内は、富田と大槻を除く
④延床面積	建物延床面積(複数棟は合計面積)を表示 ※借用施設は面積に含まない
⑤建築年度(経過年数)	主たる建物の建築年度及び次期計画開始年度の2026年度中に迎える経過年数を表示
⑥構造	主たる建物の構造を表示 W造(木造)、CB造(コンクリートブロック造)、PC造(プレキャストコンクリート造)、S造(鉄骨造)、RC造(鉄筋コンクリート造)、SRC造(鉄骨鉄筋コンクリート造)
⑦ランニングコスト(年間)	当該施設の運営や維持管理に係る、人件費、光熱水費、修繕費などの経費(2019から2023年度までの5年間の平均額)
⑧サービス評価	施設で提供するサービスを利用状況などの定量評価及び法令設置根拠などの定性評価を踏まえたサービス継続の優先度を「高」・「低」で評価したもの、評価以前に検討すべき課題がある場合は、「中」とし、総合評価を「あり方検討」とする。
⑨建物評価	目標使用年数に対する2026年度時点での残使用年数から、長寿命化改修等により延命するか、建替えか解体を検討すべきかを「高」・「低」で評価したもの ・高：残使用年数(2026)が20年以上(長寿命化改修による延命が可能) ・低：残使用年数(2026)が20年未満(改修による延命ではなく建替え、解体を検討) ・－：建物が無い場合や複合施設の従たる施設の場合等で評価ができないもの
⑩総合評価	サービス評価及び建物評価の組合せによる、次期個別施設計画期間(2026～2035)の方針 ・A：継続：施設のサービスを継続し、建物は長寿命化や集約・複合化の検討を要する ・B：建物更新：施設のサービスを継続し、建物は更新の検討を要する ・C：サービス廃止：施設のサービスを廃止し、建物は転用・譲渡等の検討を要する ・D：廃止：施設のサービスを廃止し、建物は解体の検討を要する ・E：あり方検討：検討すべき課題があり、施設方針を決めることができない場合の評価 ・－：建物なしで評価を付さないもの(サービス評価により継続、廃止の検討を要する)
⑪取組内容(サービス)	次期個別施設計画期間(2026～2035)の10年間におけるサービスの取組内容 ・継続：サービスを現在の施設で継続するもの ・継続(移転)：サービスを他の施設で継続するもの ・廃止：サービスの廃止を検討するもの ・あり方検討：検討課題について整理後に、サービスの継続か廃止のいずれかに位置づけるもの
⑫取組内容(建物)	次期個別施設計画期間(2026～2035)の10年間における建物の取組内容 ・更新：既存の建物や構造物を取り壊し、同程度の機能に取替えること ・長寿命化：長く使い続けるため、適切な時期に改修等を行うことにより耐用年数を延ばすこと ・維持補修：部分的に劣化した部位などの性能、機能を実用上支障のない状態まで回復させること ・集約・複合化：(集約化)既存の同種の施設、(複合化)既存の異なる種類の施設の統合を行うこと ・転用・譲渡等：建物を有効活用するため、建物を他の用途に転用したり、譲渡、貸付等を行うこと ・解体：既存の建物や構造物を取り壊すこと ・建物なし：他の施設を間借りしている場合で専有建物がない、又は民間施設を借用している場合
⑬方針	次期個別施設計画期間(2026～2035)の10年間におけるサービス・建物の取組の具体的な方針

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス評価	建物評価	総合評価	取組内容		方針
1 集会施設	1	片平ふれあいセンター	片平	延床面積	2,193.34㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	地区公民館と行政センター等との複合施設であり、地域コミュニティの拠点施設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度(経過年数)	1996(30)				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	10,466千円						
1 集会施設	37	農村交流センター	片平	延床面積	785.50㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	地区公民館と行政センター等との複合施設であり、地域コミュニティの拠点施設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度(経過年数)	1996(30)				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	1,395千円						
1 集会施設	121	片平公民館	片平	延床面積	66.00㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	行政センター等との複合施設であり、地域コミュニティの拠点施設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度(経過年数)	1996(30)				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	17,020千円						
3 図書館	10	中央図書館片平分館	片平	延床面積	36.00㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	他施設に入居している施設であり、主たる施設の方針に合わせ、利用状況を踏まえ、現状を維持する。
				建築年度(経過年数)	1996(30)				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	230千円						
4 スポーツ施設	8	西部第二体育館	片平	延床面積	4,581.94㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度(経過年数)	1991(35)				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	25,777千円						
4 スポーツ施設	19	西部庭球場	片平	延床面積	-	高	-	A：継続	サービス	継続	市民が気軽に庭球に親しめる施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度(経過年数)	-				建物	建物なし	
				構造	-						
				ランニングコスト(年間)	929千円						
4 スポーツ施設	26	片平スポーツ広場	片平	延床面積	18.60㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	地域の人々が気軽に運動に親しめる施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度(経過年数)	1993(33)				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	1,322千円						
4 スポーツ施設	27	西部スポーツ広場	片平	延床面積	65.93㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	地域の人々が気軽に運動に親しめる施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度(経過年数)	2004(22)				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト(年間)	3,650千円						
6 学校	33	片平小学校	片平	延床面積	3,569.87㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	文部科学省の定める「標準の学校規模」を下回る「小規模校」であることから、適正規模・適正配置の考え方を踏まえ、近隣の学校との統合を含めあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	1974(52)				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	17,992千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サービス評価	建物評価	総合評価	取組内容		方針
6 学校	67	片平中学校	片平	延床面積	4,182.26㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	文部科学省の定める「標準の学校規模」を下回る「小規模校」であることから、適正規模・適正配置の考え方を踏まえ、近隣の学校との統合を含めあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	1995(31)				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	19,979千円						
8 放課後児童クラブ等	69	片平小児童クラブ	片平	延床面積	72.00㎡	中	低	E：あり方検討	サービス	あり方検討	学校の余裕教室に入居している施設であり、学校の方針に従いあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	1974(52)				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	7,546千円						
11 庁舎等	7	片平行政センター	片平	延床面積	680.20㎡	高	高	A：継続	サービス	継続	行政サービスを維持するために必要な施設であることから、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
				建築年度(経過年数)	1996(30)				建物	長寿命化	
				構造	RC造						
				ランニングコスト(年間)	51,430千円						
12 防災施設	71	片平第1分団第1班(中央)車庫詰所	片平	延床面積	136.63㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	2001(25)				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト(年間)	823千円						
12 防災施設	72	片平第1分団第2班(岩倉)車庫詰所	片平	延床面積	49.68㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	1998(28)				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト(年間)	317千円						
12 防災施設	73	片平第2分団第1班(田中)車庫詰所	片平	延床面積	45.55㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	1989(37)				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト(年間)	292千円						
12 防災施設	74	片平第2分団第2班車庫詰所(高森・中村)	片平	延床面積	78.66㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	2008(18)				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト(年間)	409千円						
12 防災施設	75	片平第2分団第3班(東庚垣原)車庫詰所	片平	延床面積	49.69㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を検討する。
				建築年度(経過年数)	1995(31)				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト(年間)	398千円						
15 公衆便所	7	うねめ公衆便所	片平	延床面積	9.94㎡	高	低	B：建物更新	サービス	継続	公衆衛生の維持の観点から、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				建築年度(経過年数)	1979(47)				建物	維持補修	
				構造	CB造						
				ランニングコスト(年間)	438千円						

個別施設方針一覧表

施設類型	類別No	施設名	地区	施設概要		サービス評価	建物評価	総合評価	取組内容		方針
16 その他施設	49	中学校第二給食センター	片平	延床面積	3,121.07㎡	高	高	A：継続	サービス	継続（移転）	新たに整備予定の給食センターへ機能を移転し集約化を図り、建物は他の用途への転用や譲渡等を検討する。
				建築年度（経過年数）	1989（37）				建物	転用・譲渡等	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	200,746千円						
17 公園	108	蟻塚公園	片平	延床面積	8.49㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	2009（17）				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	643千円						
17 公園	109	長橋公園	片平	延床面積	16.00㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	1999（27）				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	1,239千円						
17 公園	110	尖の森公園	片平	延床面積	16.59㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	1991（35）				建物	維持補修	
				構造	その他						
				ランニングコスト（年間）	2,424千円						
17 公園	111	待池公園	片平	延床面積	170.72㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	1989（37）				建物	維持補修	
				構造	S造						
				ランニングコスト（年間）	15,106千円						
17 公園	112	鹿嶋池農村公園	片平	延床面積	14.56㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	2003（23）				建物	維持補修	
				構造	RC造						
				ランニングコスト（年間）	1,972千円						
17 公園	113	山ノ井農村公園	片平	延床面積	37.59㎡	中	高	E：あり方検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				建築年度（経過年数）	1994（32）				建物	維持補修	
				構造	W造						
				ランニングコスト（年間）	3,604千円						